

事業名 **救急業務高度化推進事業**

政策	安全で快適な都市生活の充実	施策	消防 救急の充実	基本事業	救急救命体制の充実		
部名	消防	事業開始年度	平成16年度	区分1	継続	実施計画事業認定	対象
課名	警防課	事業終了年度	- 年度	区分2	単独		

事務事業の目的と成果	
対象	救急隊員
意図	救急診療に従事している医師による、救急救命士の特定行為に関する指示又は救急救命士を含む救急隊員に対する指導・助言の確立及び事後検証医師の選定並びに病院実習等の医療機関の選定を行う
手段	・三次医療機関による救急救命士の生涯研修（2年間で128時間） ・気管挿管及び薬剤投与実施に伴う講習と病院実習

事業量・コスト指標の推移							
区分		単位	21年度実績	22年度実績	23年度予算	24年度予算	目標
対象指標1	救急救命士の数	人	18	18	18	20	
対象指標2	一般救急隊員の数	人	56	55	54	57	
活動指標1	事後検証の件数	件	131	110	123	115	
活動指標2	事後検証後の正当結果数	件	127	109	115	113	
成果指標1	病院実習延べ日数	日数	48	48	48	80	
成果指標2	救急隊員一人当たりの病院実習時間数	時間	48	48	48	64	
単位コスト指標							
事業費計(A)		千円	2,001	2,277	2,572	4,429	0
正職員人件費(B)		千円	8,298	8,060	16,292	16,186	0
<b>総事業費(A) + (B)</b>		千円	10,299	10,337	18,864	20,615	0

**事業単独評価、施策内での相対評価、財政状況に基づく改革案(2月時点)**  
 改革方向性(コスト)増加理由: 消防署救急課より一部事務の所管換えを行ったことにより、コストが増加したものの。

24年度への業務改善方向性

維持	見直し	新規	休廃止	その他
----	-----	----	-----	-----

- 維持: 現状の目的や方法に変更がなかつた24年度実施する事業
- 見直し: 現状の方法や事業量を見直し、成果指標の向上やコスト改善をおこなう事業
- 休廃止: 22年度もしくは23年度に「休止」「廃止」「終了」する事業
- 新規: 24年度より新たに新規事業として実施する事業

		改革方向性(コスト)		
		減少	維持	増加
改革方向性(成果)	向上			
	維持			
	放低置下			